

I-3 休暇中の船員の生活 行動について(3)

—大型カーフェリー船員—

目 次

A. 調査の概要	35
B. 調査結果の概要	38

A. 調査の概要

1. 調査の目的

今後の船員福祉のあり方を検討していくにあたっての基礎資料をうるため、大型カーフェリー船員の休暇生活について、生活時間、生活行動および生活意識という観点から検討しようとするものである。

2. 調査の方法

a. 調査対象

乗船—休暇サイクルの長短から、3社5隻を選抜し、5隻の全乗組員を調査対象とした。

b. 調査表の配布と回収

調査表の配布および回収は以下の手法を経て実施した。

- (1) 各社担当者に調査の依頼状を送付し、担当者は、調査対象船船長にその旨連絡する。
- (2) 調査員が調査対象船を訪船し、船長に調査の実施を依頼し、説明を行なう。
- (3) 調査対象は、訪船時点における乗船者全員とし、各自に調査表(A・B)を配布する。
- (4) 調査表の記入は各自の休暇下船後の休暇開始日から終了日までの全休暇日を原則とし

各自休暇終了日とともに調査表記入を打切り、同封の封筒に入れ、研究所宛郵送してもらう。

以上と同じ手続きを経て、3社5隻に調査を依頼した。

第1表 会社別配布数および回収数

会社名	休暇日数	隻数	配布数	有効資料
A社	13日～15日	2隻	90人	54人
B社	8日～10日	1隻	70人	36人
C社	4日	2隻	86人	49人

c. 調査表

調査表は2種類あり、調査表A「休暇生活に関するアンケート」と調査表B「生活行動調査表」を用いた。調査表Bは、毎日の生活行動を30分きざみに記入していくものであり、記入日数は休暇日数の関連から、次のような最大記入日数を定めた。つまり、A社15日間、B社10日間、C社5日間とし、これを超える場合は、打ち切りとした。

3. 調査日時

1975年2月15日～3月15日の約1ヶ月間

4. 調査対象の概要

a. 職業、年齢、家族型

有効資料となった調査対象の属性は第2表のとおりである。

カーフェリー乗組員は、運航クルーとサービスクルーに大別でき、前者は、いわゆる船員であり、後者は、乗客に対するサービス要員である。両クルーの人数は、運航クルーの場合、一定であるが、サービスクルーは乗客の人数に対応して増減があり、今回の調査時点では、かなり少ない乗組員数であった。調査時点における各職種の配布数からみると、運航クルーの部員、

サービスクルーの女子の回収率が小さいことが目立っている。

年齢別では商船に比べ、明らかに平均年齢は低く、30才未満が5割を占めている。これは、サービスクルーの女子の全員、および、サービスクルーの男子に若年層が多いことが強く影響している。

家族型では、年齢構成を反映して、未婚者が多いことが特徴である。

第2表 調査対象者の属性

職 種		
運航クルー職員		32人
運航クルー部員		39人
サービスクルー男子		39人
サービスクルー女子		29人
年 令		
30才未満		77人
30才代		34人
40才代		26人
50才以上		2人
家族型		
既 婚	核家族	65人
	大家族	19人
独身者		54人
その他		1人

b. 現 住 所

カーフェリー乗組員の現住所は、第3表に示すように、会社別にかかなりの差がある。つまり、会社別とは、ここでは、航路別とおきかえてもよく、A社は川崎-日向(宮崎)、B社は東京-高知、C社は東京-徳島という定期航路と対応している。したがって、A社という意味合いは川崎-日向航路に就航しているカーフェリーの乗組員と考えてもよい。B社は東京-高知航路に就航しているカーフェリーが調査対象となっているが、本社は鹿児島市にあり、女子サービスクルーを中心に鹿児島県在住者が多い。また、C社では東京-徳島航路のみに配船し、かつ、会社の採用人事機能が徳島市にあるところから、圧倒的に徳島県在住者が多い。

以上は会社別、つまり調査対象船の航路別の全体的傾向であるが、運航クルーとサービスクルーの比較からみると、運航クルーはC社を除き、概して航路と現住所の関連は薄く、サービスクルーは航路との関連が強い。

c. カーフェリー船員の職業経歴と入職動機
大型カーフェリーの日本における就航は

第3表 会社別、現住所の所属県

単位：(人)

	運航クルー		サービスクルー		計
	職 員	部 員	男 子	女 子	
A 社 (54人)	神奈川(6) 栃木(1)、埼玉(1) 山口(1)	神奈川(6)、千葉(2) 埼玉(1)、新潟(1) 広島(1)、高知(1) 愛媛(1) 宮崎(3)、鹿児島(2)	東京(2)、埼玉(1) 兵庫(1) 宮崎(9) 鹿児島(1)	神奈川(2) 千葉(3) 福 島(1) 宮 崎(7)	宮崎(19)、東京(2)、広島(1)、 神奈川(14)、栃木(1)、愛媛(1)、 千葉(5)、福島(1)、高知(1)、 埼玉(3)、新潟(1)、山口(1)、 鹿児島(3)、兵庫(1)
B 社 (36人)	埼玉(2)、東京(1) 秋田(1)、石川(1) 静岡(1)、山口(2) 香川(2)、愛媛(1) 鹿児島(1)	秋田(1)、福島(2) 千葉(1)、静岡(1) 香川(1)、長崎(1) 熊本(1)、鹿児島(2)	東京(1)、栃木(1) 石川(1)、和歌山(1) 高知(1)、鹿児島(2)	山 形(1) 鹿児島(6)	鹿児島(1)、静岡(2)、山形(1)、 和歌山(1)、香川(3)、秋田(2)、 愛媛(1)、山口(2)、埼玉(2)、 高知(1)、石川(2)、福岡(2)、 長崎(1)、熊本(1)、東京(2)、 千葉(1)、栃木(1)、不明(1)
C 社 (49人)	神奈川(1) 大 阪(1) 徳 島(6) 香 川(3) 愛 媛(1)	千葉(1) 徳島(8) 香川(1)	徳島(17)	徳 島(8) 香 川(1)	徳島(40)、千葉(1) 香川(5)、神奈川(1) 大阪(1) 愛媛(1)

昭和45年ごろからで、大型カーフェリー船員としてのキャリアーは、かなり浅いものである。

今回のアンケートでは、現在の会社に入社する直前の職業について調査しているが、その結果を示せば第4表のごとくである。直前職の状況は、運航クルーとサービスクルーでは当然のことながら大きなちがいがあ。つまり、運航クルーの前職は外航船員がほとんどであり、一方サービスクルーでは、男子の場合、陸上の調理関係の仕事に従事していたもの、また女子では新卒者がほとんどである。

以上の前職の状況は、大型カーフェリーの職内容からみて、運航クルーは外航船員が、またサービスクルーは、調理、サービス関係の従事者がその主な求人源となっていることは当然の結果であろう。

前職の「陸の仕事」の内容を具体的にみても第5表で、運航クルーの部員に、工員関係職務が多い。サービスクルーの男子では、22人中人、調理関係・サービス業務など、現職務と直接関係のある職務に従事していた者は15人を占めている。他の7人は、セールスマン、植木職人など、現職務との関連性はあまりない。

では、大型カーフェリー船員を志望し、現実に転職に踏み切った動機はどんなものであったか。第6表は「カーフェリー船員を選んだ動機」について、職種別にまとめたものである。

運航クルーでは、圧倒的に離家庭性のハンデギャップを補おうとする動機が支配的である。

サービスクルーの男子では、“海・船がすきで興味があった”が1位で、次いで“将来性・発展性”、“高給”“毎月決って休暇がとれる”“知人の紹介”などが続き、これらが主だった入職動機を形成している。一方女子サービス

クルーは、“海・船がすきで、興味があった”が圧倒的に多く、次いで“高給”、“知人の紹介”“毎月決って休暇がとれる”、“将来性、発展性”などが3、4件あげられている。

このように、カーフェリー船員を選んだ理由は、前職との関連が強く、運航クルーとサービスクルーでは、大いに異っている。

第4表 前職の状況

単位：(人)

	学 校	他 社 の カ ー フ ェ リ ー 船 員	内 航 船 員	外 航 船 員	陸 上 の 仕 事	そ の 他	不 明	
運航クルー								
職員	2	1	3	24	0	2	0	32
部員	0	1	5	26	6	1	0	39
サービスクルー								
男子	7	1	1	6	22	1	1	39
女子	25	0	0	0	3	0	1	29
計 (人)	34	3	9	56	31	4	2	139

第5表 陸上での仕事の内容(前職)

運航クルー部員	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自家用発電所 ○ 通信業務 ○ 機関警備 ○ 鋳型組立工 ○ 鉄工所工員 ○ 店員
サービスクルー男子	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調理関係(9人) ○ サービス業務(バー、喫茶店)(4人) ○ 飲食自営(2人) ○ 外交員、セールスマン(2人) ○ 植木職人(2人) ○ 鉄工所工員 ○ 運転手 ○ 建設業
サービスクルー女子	<ul style="list-style-type: none"> ○ デパート店員 ○ 化粧品販売員 ○ 事務員

第6表 カーフェリー船員への入職動機

単位：(人)

	職 運 航 部 員	サ ー ビ ス クル ー 男 子	サ ー ビ ス クル ー 女 子	計 (人)
1. 外航船生活に嫌気	4人	0人	0人	4人
2. 家庭生活をより充実	29	1	0	30
3. 人間的生活を求めて	11	0	0	11
4. 子供のため、家の事情	12	0	0	12
5. 健康に自信がない	4	0	0	4
6. 毎月決って休暇をとれる	18	5	3	26
7. 将来性、発展性がある	5	8	3	16
8. 船の基地と自宅が近い	7	4	1	12
9. 知人の紹介	0	6	4	10
10. 上司のすすめ	3	2	1	6
11. 高給	2	7	4	13
12. 興味があつた	0	6	12	18
13. 海、船がすきだった	2	10	18	30
14. 事務の仕事がいやだった	0	0	2	2
15. 会社より出向	4	3	0	7
16. 両親と離れて生活したい	0	1	1	2
17. その他	2	3	1	6

B. 調査結果の概要

1. 休暇日数と生活時間

カーフェリー船員の1回の休暇日数は、外航・内航両船員のそれに比べ、かなり短期であることは言うまでもない。おおよそ、カーフェリー船員の1回の休暇日数は、2日から16、17日であり、今回の調査対象である3社をみると、各々、10-15日、8-10日、4日という3段階に分れている。しかし、今回の調査時点が2月中旬～3月初旬であつたため、年間の休暇日数調整期にあたり、若干のズレが生じている。つまりA社では調査対象の平均休暇日数は13.5日、B社では10.8日、C社では4.3日であつた。そして調査表に実際に記入された休暇日数の平均は、A社11.35日、B社8.85日、C社3.77日であつた。

以上の3社の休暇制度、および実際の休暇日数の差は、休暇生活にどのような影響を与えているであろうか。第7表は、こうした休暇日数別(会社別)の1日当りの生活時間の配分を示したものである。

大雑把にみると、休暇日数の差は、生理時間、家事的時間に最も強く影響をおよぼしており、特にすいみん時間への影響が大きい。つまり、乗船一休暇のサイクルが短いほど、すいみん時間が多く、身体の休養にあてがわれる傾向がある。このような傾向は、外航船船員の長期休暇のはじめころ生ずる時間と一致している。また、家事的時間でも、家事、雑事に消費される時間は、短期休暇のC社の場合、長期、中期のAB社に比べかなり少ない。他の生活時間の大分類上ではほとんど差は生じていないが、趣味娯楽的時間のうち、長期のA社の“行楽、旅行”が他に比べ、かなり多くなっている。

生活行動の家庭内および家庭外の配分は、長期のA社の家庭外時間の多いことが目立つが、それも、“行楽旅行”“自宅外すいみん時間”が直接影響した結果で、これを除くと、大差はない。

2. 家族型と生活時間

家族型をここでは、既婚者の核家族型、大家族型に分け、これに未婚者の独身型を加えた3型態とした。第8表により家族型の特徴をみると次のとおりである。

(1) 核家族型は大家族型に比べ、“子供の世話・相手、内職の仕事、テレビ・ラジオ、読書・勉強、スポーツ・勝負ごと”において消費時間が多い。

(2) 大家族型では、核家族型に比べ、“すいみん、行楽・旅行、趣味・けいこ、家庭内雑談”

第7表 休暇日数別（会社別）生活時間（1日）

単位：（時間，分）

会社（休暇日数）	A 社			B 社			C 社		
	内	外	計	内	外	計	内	外	計
家庭内，外									
生理	10.51	1.02	11.53	11.40	.38	12.18	12.03	.17	12.20
すいみん	8.28	1.00	9.28	9.10	.32	9.42	9.56	.16	10.12
食事，身仕度	1.56		1.56	2.04		2.04	1.43		1.43
休息，ごろね	.27		.27	.26		.26	.24		.24
通院治療		.02	.02		.06	.06		.01	.01
家事	1.11	.18	1.29	1.13	.25	1.38	.44	.14	.58
子供の世話，相手	.22	.02	.24	.21	.01	.22	.17	.02	.19
家事雑事，用たし	.40	.16	.56	.45	.23	1.08	.26	.12	.38
家屋の普請	.09		.09	.07	.01	.08	.01		.01
仕事	.06	.10	.16	.20	.18	.38	.09	.03	.12
職業的仕事		.04	.04		.02	.02		.01	.01
内職的仕事	.06	.06	.12	.20	.16	.36	.09	.02	.11
交際	.20	1.25	1.45	.17	1.12	1.29	.16	1.17	1.33
他家への手伝い					.02	.02		.05	.05
個人的つきあい	.19	1.24	1.43	.15	1.00	1.15	.16	1.10	1.26
社会的つきあい	.01	.01	.02	.02	.10	.12		.02	.02
休養・教養	5.17		5.17	5.23		5.23	5.30	.09	5.39
家庭内の雑談	.54		.54	.58		.58	.46		.46
テレビ・ラジオ	3.17		3.17	3.34		3.34	3.43		3.43
新聞・雑誌	.32		.32	.29		.29	.34		.34
読書・学習	.34		.34	.22		.22	.27	.09	.36
趣味・娯楽	.46	2.34	3.20	.29	2.05	2.34	.53	2.25	3.18
散歩		.04	.04		.01	.01		.03	.03
見物・鑑賞		.04	.04		.07	.07		.21	.21
スポーツ		.14	.14		.09	.09		.15	.15
勝負ごと	.09	.19	.28	.03	.31	.34	.04	.19	.23
けいこ・趣味	.22		.22	.15	.01	.16	.21		.21
日曜大工・庭いじり	.13		.13	.09		.09	.23	.01	.24
行楽・旅行		1.17	1.17		.44	.44		.34	.34
買物・外飲食		.34	.34		.32	.32		.52	.52
その他	.02	.02	.04	.02		.02	.05		.05
不明									
合計	18.31	5.29	24.00	19.22	4.38	24.00	19.35	4.25	24.00
総数（人）	54人			36人			49人		

第8表 家族型別生活時間（1日）

単位：（時間，分）

家族型	核家族			大家族			独身者		
	内	外	計	内	外	計	内	外	計
生理	11.48	.14	12.02	11.26	1.00	12.26	10.30	1.30	12.00
すいみん	9.12	.11	9.23	8.55	.54	9.49	8.31	1.27	9.58
食事・身仕度	2.08		2.08	2.06		2.06	1.37		1.37
休息・ごろね	.28		.28	.25		.25	.22		.22
通院治療		.03	.03		.06	.06		.03	.03
家事	1.17	.25	1.42	1.05	.23	1.28	.54	.11	1.05
子供の世話・相手	.34	.03	.37	.17	.03	.20	.04		.04
家事雑事・用たし	.36	.21	.57	.44	.20	1.04	.41	.11	.52
家屋の普請	.07	.01	.08	.04		.04	.09		.09
仕事	.08	.14	.22	.03	.01	.04	.14	.10	.24
職業的仕事		.04	.04		.01	.01		.02	.02
内職的仕事	.08	.10	.18	.03		.03	.14	.08	.22
交際	.21	1.15	1.36	.25	1.05	1.30	.12	1.34	1.46
他家への手伝い		.03	.03		.01	.01			
個人的つきあい	.20	1.09	1.29	.23	1.02	1.25	.12	1.29	1.41
社会的つきあい	.01	.03	.04	.02	.02	.04		.05	.05
休養・教養	5.56	.01	5.57	5.34		5.34	4.28	.02	4.30
家庭内の雑談	.58		.58	1.16		1.16	.41		.41
テレビ・ラジオ	3.42		3.42	3.19		3.19	3.05		3.05
新聞・雑誌	.39		.39	.35		.35	.20		.20
読書・学習	.37	.01	.38	.24		.24	.22	.02	.24
趣味・娯楽	.46	1.35	2.21	.41	2.17	2.58	.39	3.36	4.15
散歩		.05	.05		.02	.02		.01	.01
見物・鑑賞		.01	.01		.07	.07		.17	.17
スポーツ		.14	.14		.01	.01		.16	.16
勝負ごと	.12	.29	.41		.20	.20	.02	.15	.17
けいこ，趣味	.10		.10	.22		.22	.33	.01	.34
日曜大工，庭いじり	.21		.21	.19		.19	.01		.01
行楽・旅行		.22	.22		1.18	1.18		1.48	1.48
買物・外飲食		.24	.24		.27	.27		.56	.56
その他の	.03		.03		.02	.02	.03	.02	.05
不明									
合計	20.16	3.44	24.00	19.14	4.46	24.00	16.57	7.03	24.00
総数(人)	65人			19人			54人		

が多い。また家庭外時間も1時間以上の差がある。

(3) 独身型に比べ、既婚者に多い生活時間は、“食事・身仕度、子供の世話・相手、家庭内雑談、テレビ・ラジオ、新聞、雑誌、勝負ごと、日曜大工・庭いじり”などである。

(4) 独身型の特徴は、“行楽旅行、自宅外すいみん、個人的つきあい、見物鑑賞、けいこ・趣味、買物・外飲食”などである。また家庭外時間が著しく多い。

以上の諸特徴は、これまで得てきた、外航船員、内航船員の家族型特徴と一致するところが多く、家庭環境の生活行動におよぼす影響を裏づけているといえよう。

3. 職種と生活時間

職種を運航クルー職員、部員、サービスクルー男子、女子の4職種に分け、それぞれの生活時間を整理したものが第9表である。

まず、運航クルーとサービスクルー（男子）との比較からみると、運航クルーの特徴としてあげられるものには“子供の世話・相手、家庭内の雑談、読書・学習、日曜大工・庭いじり”などがある。一方、サービスクルー男子は運航クルーに比べ“行楽・旅行、自宅外すいみん”時間が目立って多い。このほか、“見物鑑賞、買物外飲食、自宅すいみん”時間も若干多くなっている。旅行・行楽行動に影響されて、家庭外生活時間も運航クルーに比べ多くなっている。

若年女子の生活行動をサービスクルー女子の結果からみると、“家事・用たし、個人的つき合い、趣味、けいこ、旅行と自宅外すいみん”などが特徴としてあげられよう。

運航クルーを職員と部員で比較すると、職員は“子供の世話・相手、家庭内雑談、読書・勉

強、散歩、スポーツ、けいこ・趣味、行楽・旅行”などにおいて、部員より多くの時間が消費されている。一方部員は職員に比べ“自宅外すいみん時間、休息・ごろね、内職の仕事、テレビ・ラジオ、勝負ごと”に消費される時間が多い。こうした職員と部員の特徴は、外航船員における傾向と著るしく類似しているが、家庭内・外の時間配分では、逆の関係がある。つまり、今回のカーフェリー乗組員の場合では、部員の方が家庭外時間が多く、外航船員の場合は職員の方が多くなっている。

以上、職種別の生活時間についてみてきたが、運航クルー職員部員、サービスクルー男子、女子という4グループは生活、家庭環境の差異、休暇に対する意識の差異などから、それぞれに個有な生活実態があらわれてきている。

4. 生活時間からみたカーフェリー乗組員の 休暇生活の特徴について

ー外航船員、内航船員との比較ー

カーフェリー乗組員の休暇中の生活行動の特徴をみるべく、外航船員（中核6社）、内航船員、それに、石川県富来町居住者（郡部居住者の典型）を比較対象として整理したものが第10表である。

休暇日数からみると、外航船員約60日、内航船員40日、石川県富来町50日となっており、カーフェリー船員はこれに比べ、かなり少ない日数である。また、カーフェリー乗組員の個人の属性からみて、若年層が相対的に多く、しかもサービスクルーは男女とも船員スタイルの働き方（連続勤務ー連続休暇）には、慣れていないことを考慮しておく必要がある。

カーフェリー船員の休暇中生活時間のうちでは他の対象に比べ、明らかに消費時間が多いのは

第9表 職種別生活時間（1日）

単位：（時間，分）

職 職	運航クルー職員			運航クルー部員			サービスクルー男子			サービスクルー女子		
	内	外	計	内	外	計	内	外	計	内	外	計
生 理	11.32	.16	11.48	11.40	.28	12.08	11.20	.59	12.19	10.31	1.31	12.02
す い み ん	9.07	.09	9.16	8.59	.24	9.23	9.17	.58	10.15	8.11	1.30	9.41
食 事・身 仕 度	2.02		2.02	2.04		2.04	1.42		1.42	1.59		1.59
休 息・ご ろ ね	.23		.23	.37		.37	.21		.21	.21		.21
通 院 治 療		.07	.07		.04	.04		.01	.01		.01	.01
家 事	1.11	.27	1.38	.57	.21	1.18	1.04	.14	1.18	1.19	.15	1.34
子 供 の 世 話・相 手	.39	.04	.43	.21	.02	.23	.19	.01	.20	.04		.04
家 事 雑 事・用 だ し	.27	.22	.49	.29	.19	.48	.35	.13	.48	1.10	.15	1.25
家 屋 の 普 請	.05	.01	.06	.07		.07	.10		.10	.05		.05
仕 事	.06	.06	.12	.14	.13	.27	.06	.09	.15	.14	.15	.29
職 業 的 仕 事		.03	.03		.02	.02		.04	.04		.02	.02
内 職 的 仕 事	.06	.03	.09	.14	.11	.25	.06	.05	.11	.14	.13	.27
交 際	.26	.45	1.11	.24	1.23	1.47	.10	1.13	1.23	.14	1.59	2.13
他 家 へ の 手 伝 い					.05	.05						
個 人 的 つ き あ い	.26	.42	1.08	.21	1.17	1.38	.09	1.07	1.16	.14	1.54	2.08
社 会 的 つ き あ い		.03	.03	.03	.01	.04	.01	.06	.07		.05	.05
休 養・教 養	6.07		6.07	5.50	.04	5.54	4.54		4.54	4.30	.02	4.32
家 庭 内 の 雑 談	1.09		1.09	.59		.59	.39		.39	.50		.50
テ レ ビ・ラ ジ オ	3.15		3.15	3.49		3.49	3.25		3.25	3.11		3.11
新 聞・雑 誌	.42		.42	.36		.36	.32		.32	.14		.14
読 書・学 習	1.01		1.01	.26	.04	.30	.18		.18	.15	.02	.17
趣 味・娯 楽	.55	2.09	3.04	.37	1.49	2.26	.37	3.14	3.51	.43	2.27	3.10
散 歩		.09	.09		.01	.01		.02	.02		.01	.01
見 物・鑑 賞		.03	.03		.05	.05		.16	.16		.06	.06
ス ポ ー ツ		.21	.21		.12	.12		.13	.13		.07	.07
勝 負 ご と	.08	.24	.32	.07	.34	.41	.10	.27	.37			.00
け い こ, 趣 味	.22	.01	.23	.06	.01	.07	.17		.17	.39		.39
日 曜 人 工 庭 へ じ り	.21	.01	.22	.22		.22	.08		.08	.01		.01
行 楽・旅 行		.39	.39		.22	.22		1.36	1.36		1.30	1.30
買 物・外 飲 食		.31	.31		.31	.31		.40	.40		.43	.43
そ の 他	.04		.04	.02	.03	.05	.02		.02	.03		.03
不 明												
合 計	20.17	3.43	24.00	19.42	4.18	24.00	18.11	5.49	24.00	17.31	6.29	24.00
総 数 (人)	32人			39人			39人			29人		

第10表 調査対象別生活時間（1日）

単位（時間・分）

調査対象	外航船員			内航船員			石川県			カーフェリー船員		
	内	外	計	内	外	計	内	外	計	内	外	計
生理	11.12	.31	11.43	11.24	.32	11.56	11.33	.23	11.56	11.17	.47	12.04
すいみん	8.19	.23	8.42	8.39	.15	8.54	8.49	.03	8.52	8.55	.44	9.39
食事・身仕度	2.19		2.19	2.09		2.09	2.15		2.15	1.56		1.56
休息・ごろね	.34		.34	.36		.36	.29		.29	.26	.03	.29
通院治療		.08	.08		.17	.17		.20	.20			
家事	1.44	.24	2.08	1.30	.15	1.45	1.32	.14	1.46	1.07	.29	1.26
子供の世話・相手	.29	.03	.32	.27	.04	.31	.22	.04	.26	.21	.02	.23
家事雑用・用たし	.44	.18	1.02	.32	.07	.39	.39	.10	.49	.39	.17	.56
家屋の普請	.31	.03	.34	.31	.04	.35	.31		.31	.07		.07
仕事	.10	.23	.33	.31	.25	.56	.03	1.18	1.21	.10	.11	.21
職業的仕事		.15	.15		.08	.08		.02	.02		.03	.03
内職的仕事	.10	.08	.18	.31	.17	.48	.03	1.16	1.19	.10	.08	.18
交際	.17	.58	1.15	.25	.53	1.18	.32	1.22	1.54	.19	1.21	1.40
他家への手伝い		.05	.05		.08	.08		.21	.21		.02	.02
個人的つきあい	.16	.44	1.00	.23	.42	1.05	.31	.48	1.19	.18	1.15	1.33
社会的つきあい	.01	.09	.10	.02	.03	.05	.01	.13	.14	.01	.04	.05
休養・教養	5.35	.09	5.44	5.39	.03	5.42	5.38	.09	5.47	5.22	.02	5.24
家庭内の雑談	1.03		1.03	.54		.54	1.01		1.01	.54		.54
テレビ・ラジオ	3.16		3.16	3.37		3.37	3.40		3.40	3.26		3.26
新聞・雑誌	.45		.45	.38		.38	.40		.40	.33		.33
読書・学習	.31	.09	.40	.30	.03	.33	.17	.09	.26	.29	.02	.31
趣味・娯楽	.50	1.44	2.34	.55	1.23	2.18	.35	.41	1.16	.41	2.24	3.05
散歩		.06	.06		.05	.05		.03	.03		.03	.03
見物・鑑賞		.03	.03		.03	.03		.01	.01		.08	.08
スポーツ		.24	.24		.15	.15		.16	.16		.13	.13
勝負ごと	.05	.09	.14	.09	.14	.23	.07	.04	.11	.06	.23	.29
けいこ・趣味	.10	.01	.11	.09	.01	.10	.07		.07	.20		.20
日曜大工・庭へじり	.31		.31	.32		.32	.19		.19	.13		.13
行楽・旅行		.39	.39		.30	.30		.13	.13		1.00	1.00
買物・外飲食		.22	.22		.15	.15		.04	.04		.36	.36
その他	.04		.04	.05		.05	.02		.02	.02	.01	.03
不明	.03		.03	.05		.05						
合計	19.51	4.09	24.00	19.29	3.31	24.00	19.53	4.07	24.00	18.56	5.04	24.00
正味家庭外時間	3.46			3.16			4.04			4.20		
総数（人）	307人			207人			63人			139人		
調査時点（年）	'72.10, '73.11			'73.11			'72.10			'74.2		

「趣味・娯楽」に関する項目である。カーフェリー船員は3時間5分、次いで外航船員2時間34分、内航船員2時間18分、石川県富来町1時間16分となっている。「趣味・娯楽」の内容をみると“行楽・旅行、けいこ・趣味、買物・外飲食、見物・鑑賞”が他船員に比べ多く、「交際」の“個人的つきあい”も同様に多い。こうした特徴は、若年層の傾向と一致しており、カーフェリー船員の年令的要因が強く影響しているものと思われる。

また“すいみん時間”が多く“食事・身仕度、家屋の普請”，「仕事」時間が他の船員に比べ少ないのは、乗船－休暇サイクルが短いことによる影響と考えられよう。

生活行動の家庭内、外の比較では、カーフェリー船員は家庭外時間が5時間4分であり、他船員に比べ1時間以上多くなっている。これは、主に“行楽・旅行、自宅外すいみん”時間の影響によるところが大きい。

(船員福祉に関する調査 第Ⅳ編の要約，青木修次)